



# 泉州南広域消防本部

## SMART RESCUE



### 救助工作車（Ⅲ型）

### 消防本部 高度救助隊

狭隘道路が多い地域の特性上、車両の全長を最小限に抑える一方で、緊急消防援助隊出動等の長距離移動時の車内空間を確保するため、通常の乗車スペースより、後方に約12cm広い空間を設けているのが特徴です。車両側面には、泉州南の「S」をモチーフに「救助を求める人のもとへ素早く駆けつける」「必ず家族のもとへ帰る」という意味を込め、「ツバメ」を描いています。

車名：日野  
通称：救助工作車（Ⅲ型）  
シャーシ型：2KG-GX2ABA  
全長：7.62m  
全幅：2.36m  
全高：3.19m  
ホイールベース：3790mm  
配備年月日：平成31年3月1日



消防車両用語 ⑩ シャーシ：フレーム、エンジンなどから構成される車両ベースのこと

## 望楼探訪

### 第3回 旭消防署

市内3か所に設けられている大阪の街を見守る高所カメラ。かつてその役目を果たしていたのは、市内の各消防署本署に設置された「望楼」、いわゆる「火の見櫓（やぐら）」でした。周辺建物の高層化や一般家庭への電話の普及でその役割を終え、現在、望楼が残っている消防署は西淀川・生野・旭・阿倍野・住之江の5署のみ。そんな「望楼」を巡り、消防署の今と昔を探る連載企画「望楼探訪」。今回は、今年4月に開設80周年を迎えた旭消防署をご紹介します。



1948年に開設された旭消防署と当時の望楼



現在の旭消防署と望楼



望楼の最上階

望楼内を案内してくれた藤田史郎司令補

### 望楼のある庁舎 旭消防署を訪ねて

1945年の大阪大空襲で閉鎖を余儀なくされた後、その3年後には望楼とともに再建された旭消防署。現在の庁舎は1968年に竣工されたもので、庁舎と一体型の望楼は、当時でも珍しい最新のものでした。その役割を終えて久しい望楼ですが、四方に設えられた窓からは、今も北方向に旭区市街を見渡すことができます。望楼をご案内いただいた鎌倉ルリ子署長も、「上がってみると」なんだか落ち着きますね」と感慨深げ。たしかに、隊員二人が交代で任務に当たったその空間は、方形であたかも茶室を思わせる広さでもあ

ります。かつて、この空間にあった日常を知る人も少なくなった昨今。鎌倉署長も「望楼勤務は」大変だったようですね。それ以上のことを聞く機会は残念ながらありませんでしたが……とのこと。そんな、主不在の空間で、高所カメラの役割を人の目が担った時代の空気を感じながら、望楼とともにあり、高所カメラの登場とともに失われた何かについて考えてみたくなった、そんな取材となりました。

### 旭消防署

#### 鎌倉ルリ子署長ってこんなひと

女性初の消防署長である鎌倉署長。かつてハンドボール部でキーパーの経験もあり、「守る」ことに関しては、右に出るものがないとか。

署長のモットーは、「主役は署員 署長は黒子役」です。災害から市民を「守る」べく、署員と一丸となって日々尽力されています。



鎌倉ルリ子署長  
旭区のマスコットキャラクター「しょうぶちゃん」を手に。

### 旭区大宮方面を望むと…



高所カメラ（OAPタワー屋上）

望楼からの眺め

令和6年9月7日（土）旭消防署開設80周年記念式典開催！

詳細はこちら



〒535-0002

大阪市旭区大宮1-1-11 電話：06-6952-0119



## ロープ登はん訓練

上部から垂れ下がった約7メートルの懸垂ロープを利用し、救助隊員が登はんして救助活動現場に進入するための技術を学ぶ訓練。ロープの握り方や姿勢のコツを伝えるも、そう簡単にスイスイ登れるわけもなく、登りたいという気持ちとは裏腹に大苦戦！

## 救急訓練

救急隊が傷病者に対して施す応急処置の中に「インハレータ付きBVMを用いた人工呼吸（補助換気）」がある。時には数十分間も継続しなければならぬ。地味ではあるが、傷病者の一命を取り止める非常に重要な手技であり、学生の眼差しも真剣そのものであった。



## 17日 学校長点検

5月17日、綺麗な青空の下、第116期生にとっては初めてとなる学校長点検が実施された。日に日に日差しが強くなり、この日も立っているだけで額に汗がにじむ程だ。しかし、学生たちは強い日差しに負けず、頭の先から爪先まで神経を集中させ、学校長をはじめとした幹部職員に堂々とした姿を披露した。ごく自然に立派な各個動作をとるその姿からは、かけ声ひとつ満足にできなかった1カ月前の姿を想像することはできない。1カ月間の著しい成長を見ることができた。その他に、ロープ渡過訓練など様々な「初めて訓練」が5月に実施されたので紹介します。

## 小隊で私が1番！

今回は、各小隊の選ばれし者たちに聞いた、消防学校の食堂での好きな献立TOP3です。厳しい訓練の日々の楽しみの一つ。どんな献立が元気をくれる…？



## 今月のテーマ 『グルマン(食いしん坊)』

好きな献立TOP3



### 第1小隊

大阪市消防局  
友田健太郎

- ①岡山名物の鶏めし
- ②そぼろ丼
- ③ビビンバ



### 第2小隊

東大阪市消防局  
西口玲士

- ①油淋鶏
- ②大人のお子様プレート
- ③ヤムニョムチキン



### 第3小隊

大阪市消防局  
川崎剛宜

- ①ハヤシライス
- ②ミンチカツ
- ③肉あんかけ炒飯



### 第4小隊

大阪市消防局  
古段智彰

- ①豚丼
- ②肉あんかけ炒飯
- ③キーマカレー

## ロープ渡過訓練



水平に張ったロープを渡る手法で、チロリアン、セーラー、モンキーの3種類がある。途中でバランスを崩した時に元の位置に戻る「復元」にも技術が求められる。展示をする教官は手慣れたものだが、初日はご覧のとおり、教官の救助を待つ者が続出した。

## 輻射熱訓練

火災防ぎよの授業の一環である、木造住宅火災を想定した模擬家屋を燃焼させ、輻射熱を体験する訓練。延焼経路、活動姿勢の大切さ、注水の必要性や効果について学習した。つい後退りしてしまいそうな火勢を目の当たりにし、いかに消防という職種が危険かを改めて実感した学生たちであった。



「救助技術指導会」に向け署内  
選考会を実施

忠岡町消防本部



忠岡町消防本部では、堺市総合防災センターで行われる「第52回消防救助技術近畿地区指導会」の出場隊員を決めるべく、5月22日（水）に署内選考会を実施しました。

4月から約1か月間にわたり、先輩達の指導を仰ぎ仲間達と共に切磋琢磨しながら、署内選考会に向けて集中力を高め日々訓練を行ってきました。選考会当日の出場隊員にあっては、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮することができ、活気ある選考会となりました。その結果、日本一小さなまち忠岡町からも、はしご登はん2名、ほふく救出1組の出場が決定しました。

残りの限られた時間の中でさらなる技術の向上に努め、指導会への出場が決まった隊員にあっては、今回出場が叶わなかった隊員たちの想いも胸に、千葉県で開催される全国消防救助技術大会への出場を目指します。



東大阪市消防局

高齢者宅を対象とした火災予防  
講習会を実施

東大阪市消防局では、長らくコロナ禍で見合わせていた高齢者宅を対象とする火災予防講習会を、2月26日（月）に3年ぶりに実施しました。

例年、建物火災の中でも上位を占める住宅火災。特に高齢者宅で火災が発生した場合は、死者が発生したり全焼にまで至るケースが多いのが現状です。高齢で体が不自由なことから火災の発見が遅れる、通報や初期消火が出来ないといったことが原因だと思われます。

令和元年7月にスタートした本講習会は、高齢者宅で発生しやすい火災事例や対策についてホームヘルパーの方々などに受講していただき、高齢者を介護されているご家族にもお伝えすることで、これに類する火災の減少に繋がたいと考え企画されたものです。コロナ禍が明け3年ぶりの開催となりましたが、講習に参加された方から「実際の映像を見て、火災の恐ろしさや、注意すべき点がよく分かりました。」「高齢者だけではなく、自分の家でも気づける点がたくさんありました。」等、多くの前向きなご意見を頂きました。



吹田市消防本部

吹田市総合防災センターが完成

令和6年4月に「吹田市総合防災センターDisaster Reduction Centre Suita（通称：DRC Suita）」を開設しました。

この施設は、消防機能のほか、市長部局の土木部行政機能及び教育センター機能で構成されています。市役所本庁舎の災害対策本部の代替機能も有しており、災害時は本市北部の災害活動拠点となる複合施設です。

低層の1階から4階に北消防署と中消防庁舎を機能統合した消防機能を持たせる一方、5階部分には「北大阪消防指令センター」を設置しました。豊中市・吹田市・池田市・箕面市・摂津市の5市に豊能町と能勢町の2町を加えた、人口約114万人のエリアを管轄しています。

阪急電鉄千里線南千里駅のホームから消防訓練エリアを直接見渡せるという立地を生かし、訓練エリアはできるだけオープンな構成とし、市民の防災意識や安心感の向上に寄与することも目的の一つとなっています。



池田市消防本部

子どもたちに楽しく花火指導

池田市消防本部では、毎年6月と7月に市内保育園・幼稚園に出向いて花火指導を実施しています。内容は職員による寸劇、防火DVDの上映、おもちゃ花火の体験等で、今年は33施設で実施します。

職員による寸劇は年々改良されています。「この花火の遊び方は○？×？」と園児たちに問いかけ、自ら考えて返事をしてもらうことで、より防火意識が根付くようにしています。園児たちが元気な声で正解を言ってくれる様子に、こちらもうれしくなっています。

実際に園児たちがおもちゃ花火を体験した後、先生たちには園児たちの声援を受けながら水消火器での消火訓練を行っていただき、最後に施設の査察を実施します。

ほんの少しではありますが、幼児教育に関わり、防火について伝えることができる貴重なこの時間を有効に活用できるよう、花火指導を継続していきます。

## 吉川化成株式会社

吉川化成株式会社は「その構想をプラスチックで現実にする会社」をコンセプトに、本社のある鶴見区をはじめ、国内で10拠点、海外に5拠点を構えています。主に私たちの生活に欠かせない家電製品や自動車内装部品、医療器具などのプラスチック製品の製造を行っており、日本のものづくりの優良企業として数々の受賞歴のある会社です。



鶴見自衛消防協議会に昭和49年に加入されて以降、多くの協議会行事に積極的に参加していただき、協議会の運営発展に大きく寄与していただいております。また、2年に1度開催される自衛消防技術練成会では、事前訓練から積極的に訓練を実施していただくなど、常に高い危機管理意識を持って自主防災に取り組みされており、鶴見消防署にとって大変心強く、当協議会に欠かせない事業所です。

## 自衛消防隊紹介

### 自衛消防隊長 田中 利則

社員一同、日頃から防火・防災意識を持ち、各役割を正しく認識することが万一の災害等による人的物的被害を最小限に止め得る備えになると理解し、いつ何時も安全を最優先し業務に努めております。



## 女性防火クラブだより

### 西区

西区女性防火クラブは平成3年に結成し、今年で33年が経過します。西区の14連合の女性会長が、各支部の女性防火クラブ支部委員長を兼任し、各連合会館や消防署で実施される防火・防災訓練への参加、その他研修会の実施など活発に活動しています。

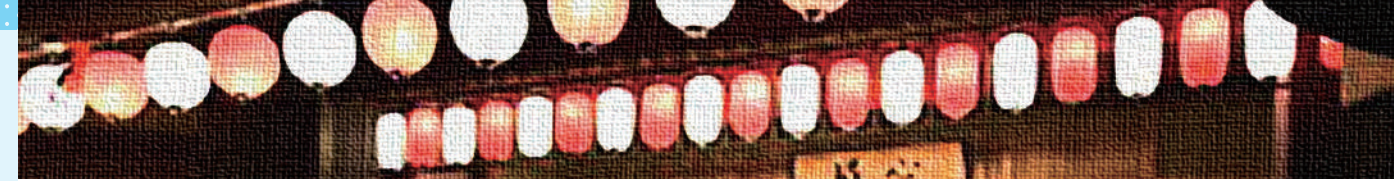
現在の喜多村操委員長は4代目委員長として、平成28年度より今日に至るまで最前線でご活躍いただいております。そんな喜多村委員長の永年のご活躍に対し、令和5年度大阪府防火クラブ大会において「大阪府女性防火クラブ連絡協議会会長表彰」が贈呈されました。



令和5年度西区女性防火クラブ役員会

受賞に際して喜多村委員長からは、「これからも西区女性防火クラブの理念でもある『家庭からの出火防止』『自分たちの地域は自分たちで守る』を達成するため、一層の地域団結を図って参ります。」との心強い言葉も頂戴しました。

これからも西区女性防火クラブは消防局と力を合わせ、西区の防火・防災に努めます。



## 落語 DE 火の用心

### 今回のお噺『貰(たばこ)の火』



皆さん、こんにちは。「今年のアツもナツいですがねえ」ということで、そなえ亭恐妻でございます。今月も、どうぞ、お付き合いを願います。

今回ご紹介するのは「貰(たばこ)の火」というお噺。何やら「落語DE火の用心」でご紹介するのは、うってつけのタイトルでございますが、お噺のほうは、住吉神社の前で客待ちをしていた駕籠(かご)屋、風呂敷包みを首に巻いた身なりのよい老人を乗せますと、この老人が大阪の一流のお茶屋で遊びたいと言うので、北の新地の綿富という茶屋へと案内します。

老人は駕籠を下りるや綿富の若い衆の伊八に駕籠賃として帳場から一両立て替えさせ、駕籠屋の親孝行用にと二両、さらに、座敷に上がった老人は祝儀にと、見習い十人に一両づつ十両、幫間衆に十五両、舞妓たちに二十両、芸妓衆に三十両を立て替えさせ、そのうえ、奉公人衆にと五十両を立て替えてくれと言います。

さて、今月のお噺、タイトルが何故「貰(たばこ)の火」なのかは、ネタバレになりますので申し上げられませんが、昨年引き続き令和5年中も火災原因のトップになりました「たばこ」については少しお話させていただきます。

たばこの火種は、小さいながらも温度は約700〜800度、喫煙時には約1,000度にもなります。

たばこの火種が、綿を素材とする繊維の布団や座布団に落下すると、炎を上げることなく時間をかけてじわじわと燃焼を続けます。(これを「無炎燃焼」と言います。)

炎を上げないため、たばこを吸っていた本人も、なかなか気づくことができず、気づいた時には一酸化炭素中毒で動けなくなってしまう、取り返しのつかないことになってしまいます。

ですので、たばこの火は、必ず水に濡らすなど完全に消火するようにして、室内や布団などの上でのくわえたばこは絶対にやめましょう！

\*「寝たばこ」の再現実験



\*送風すると炎が立ち上がる。

### プチ上方言葉講座

#### 「におてる」

【意味】

似合てる・似合っている など

【使用例】

「お嬢ちゃん、その服よにおにしておるなあ。」



それでは、今月の消防落語は古典落語の演目のひとつ「火事の引越」をお届けします。消防局落語研究会の異端児、宮崎県出身の駆付亭福男さんの高座音源をアップしていますのでお聴きください。



# 消防ビフォーアフター

## 施設課 防災基盤整備 担当 出張所

大阪市消防局では、老朽化及び狭隘化が進んでいる消防庁舎の防災活動拠点としての機能強化を図る建替事業を実施しています。今回は、令和5年度竣工の住吉消防署万代出張所をご紹介します。

### 建替整備について

消防署所は市域の消防力のバランスに配慮していることから現在地での建替え(現地建替え)が基本で、築年数50年以上の庁舎を対象とし、老朽化、車両や資器材等の増加による狭隘化、増改築等を勘案し、消防局全体の経費の平準化も図りながら検討を行い、計画的に実施しています。

また、建替えに伴い、より迅速な災害出場に対応するよう車庫の拡大や防災拠点としての機能を確保する72時間連続運転可能な自家発電設備設置等の機能強化のほか、待機室(仮眠室)の個室化、女性用待機室の整備など執務環境の改善を実施しています。

### 住吉消防署万代出張所の建替え

万代出張所は昭和36年に開所した庁舎の老朽化に加え、近年の救急需要の増大に伴う更なる救急体制の強化を図るため、庁舎の建替えに際し常備救急隊1隊をあらたに配備して、既存の消火隊とあわせた2隊を運用できる庁舎規模に建替えました。また、住吉消防署(本署)の予備車(車検や車両不足時用の車)1台を移動配備できるよう並列3台、縦列1台の計4台分の車庫スペースを確保することで本署車庫の狭隘化の軽減も図りました。

### 住吉消防署万代出張所のあゆみ

- 昭和23年3月 自治体消防発足に伴い、大阪市住吉消防署として神の木(現万代)出張所を管轄する。
- 昭和36年12月 神の木出張所を現在の住吉区万代東4-1-23に移転竣工し、万代出張所に改称して事務を開始する。
- 令和6年3月 現地建替工事により新庁舎を竣工し、事務を開始する。

| 消防庁舎概要 |           |
|--------|-----------|
| 敷地面積   | 479.17㎡   |
| 建築面積   | 291.44㎡   |
| 延べ面積   | 917.48㎡   |
| 階数     | 地上4階建て    |
| 構造     | 鉄筋コンクリート造 |

point



消防車両3台を並列駐車できるスペースを確保するために、西側の受付横にあった玄関を北面に設置。装飾性を高める「透かしブロック」も採用しました。



## 緊急消防援助隊の出動に係る総務大臣感謝状贈呈式及び消防庁長官賞状等授与式

令和6年5月23日(木)、霞が関プラザホール(東京都)において、令和6年能登半島地震へ緊急消防援助隊として出動した全国19都道府県大隊に対する総務大臣感謝状贈呈式及び274消防本部、15県(消防防災航空隊)に対する消防庁長官賞状等授与式が開催されました。

大阪市消防局の代表として橋口局長、緊急消防援助隊大阪府大隊の代表として、水口航空隊長(当時、司令課統括方面隊長)が出席されました。

令和6年1月1日(月)に発生し甚大な被害をもたらした「令和6年能登半島地震」に対し、大阪市消防局は、地震発生約1時間半後に、消防庁長官から指揮支援隊、航空小隊の出動指示を受け、直ちに派遣隊を編成し、大阪府内の各消防本部と共に石川県輪島市に向け出発しました。その後、52日間に渡って活動し、2月21日をもってすべての活動を終了しました。



中央:原消防庁長官、中央左:橋口消防局長



中央左:松本総務大臣、中央右:原消防庁長官  
総務大臣の左:水口航空隊長



消防庁長官賞状を受賞する橋口消防局長



総務大臣感謝状を受領する水口航空隊長

### <代表受賞者のコメント>

#### 【大阪市消防局長 橋口博之】

2月21日の活動終了までに大阪府大隊の一員として、当局から259隊783名を動員し、現地への部隊派遣だけでなく、局内に後方支援本部を設置し、情報収集や活動調整を行い、大阪府大隊の活動の全面的なバックアップ体制を築きました。余震が続き、過酷な悪天候の中でも着実に活動を継続し、一人の負傷者もなく活動を終えられたことは、日々の訓練等の成果であるとともに、多くの方々の支えのもと当局と府内各消防本部が一丸となって、この難局に立ち向かった結果であると存じます。本当にありがとうございました。

今回の震災のように自然災害はいつどこで、どのような規模で発生するかわからないことを再認識するとともに、来るべき災害対応のために、市民の生命と財産を守るという崇高な使命を達成できるよう、備えを充実させていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 【警防部警防課航空隊長 水口和也】

石川県輪島市に派遣された「緊急消防援助隊大阪府大隊」は、1月1日の発災から2月2日までの33日間に延べ459隊1575名を派遣し、派遣された隊員は吹雪と強い余震が頻発する厳しい活動環境の中、倒壊家屋からの救助・捜索活動、消火活動に救急搬送のほか、救急隊による避難所への巡回、貯水槽への補給活動など、被災地で求められる様々なニーズに対応しました。活動を通じて、「被災者に寄り添った活動」を強く意識しながら被災地のために尽くすことができたことは本当に良かったと思っています。

今回、大阪府を代表し総務大臣感謝状を拝受させて頂きました。派遣隊員の皆様には困難な状況の中、各指揮者の指示を忠実に実行し、被災地で奮闘して頂いたことに感謝しております。この場をお借りしてお礼を申し上げます。有難うございました。